

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年4月5日(2018.4.5)

【公開番号】特開2016-30071(P2016-30071A)

【公開日】平成28年3月7日(2016.3.7)

【年通号数】公開・登録公報2016-014

【出願番号】特願2014-153781(P2014-153781)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月23日(2018.2.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球を用いた遊技を行う遊技機において、

遊技球が流下する遊技領域を有する遊技盤と、

当該遊技機の前面側を構成し、前記遊技盤を視認可能にする窓部を有する前扉部と、

前記前扉部に設けられ、前方に突出すると共に遊技者が視認可能な所定の演出が行われる扉側演出部と、

前記遊技盤に設けられ、前記扉側演出部とは異なる部材からなる盤側演出部と

を備え、

前記扉側演出部による演出と前記盤側演出部による演出とを並行して行うことによって、一体的な装飾を創出する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、

遊技球を用いた遊技を行う遊技機において、

遊技球が流下する遊技領域を有する遊技盤と、

当該遊技機の前面側を構成し、前記遊技盤を視認可能にする窓部を有する前扉部と、

前記前扉部に設けられ、前方に突出すると共に遊技者が視認可能な所定の演出が行われる扉側演出部と、

前記遊技盤に設けられ、前記扉側演出部とは異なる部材からなる盤側演出部と

を備え、

前記扉側演出部による演出と前記盤側演出部による演出とを並行して行うことによって

、一体的な装飾を創出する
ことを特徴とする。

また、本発明とは別の発明として、以下の手段を参考的に開示する。

(解決手段1)

遊技媒体を用いた遊技を行うと共に、遊技の結果に基づいて所定の利益を付与する遊技機であって、前記遊技機の前面側を構成する前面部材に設けられる投影面と、前記投影面の外方より所定の画像を投影して当該投影面に映し出すことができる投影手段と、遊技の進行に基づいて演出を制御する演出制御手段と、を備え、前記演出制御手段は、予め定めた条件が成立したことに基づいて、前記投影面を除く他の部位で所定の装飾演出を行うと共に、前記投影手段を制御して当該投影面に前記装飾演出に関連する画像を投影することを特徴とする遊技機